

津久井やまゆり園事件から10年

令和8年（2026年）7月26日に、津久井やまゆり園事件から10年が経ちました。

あらためて、亡くなった19名の皆さまへ、心から哀悼の意を表します。また、体や心に傷を負わされた方々には、心からお見舞いを申し上げます。そして、いつもどおりの暮らしを取り戻していることを祈っております。

私たち全国手をつなぐ育成会連合会では、事件が起きたすぐ後に、2つの声明文を出しました。1つは育成会の考えを発表した声明文、もう1つは知的障害や発達障害のある人に向けたメッセージでした。

事件から10年が過ぎましたが、今でも私たちの気持ちは変わりません。

事件の犯人は、うまく会話ができないような重度の障害者はいなくなればいいと話していました。

しかし、障害のある人は、一人ひとりが懸命に生きています。そして、私たち家族は、障害のある人を本当に大切な存在だと思っています。

津久井やまゆり園事件は、障害のある人にとって、とてもショックだったと思います。今でも、施設の職員は本当に障害者を守ってくれるのだろうか、不安になってしまう人がいるかもしれません。

もし不安な気持ちになったら、皆さんの家族や友だち、仕事の仲間や施設の職員

へ^{はな}話^{はなし}してみてください。きっと、^{はなし}話^きを聞いてくれるはずです。

そして、^{わたし}私^{かぞく}たち^{しょうがい}家族^{みな}は、いつでも、^{しょうがい}障^{みな}害^{みかた}のある^{だれ}皆さんの^{だれ}味^{だれ}方^{だれ}です。もし、^{だれ}誰^{だれ}かに

「^{しょうがいしや}障^い害^い者^いなんていなくなればいい」と言^いわれたら、^{かなら}必^{ぜんりよく}ず^{まも}全^{まも}力^{まも}で守^{まも}ります。

ですから、^{しょうがい}障^{ひと}害^{わたし}のある^{かぞく}人も^{どうどう}私^いたち^い家^い族^いも、いつだって堂^い々^いと生^いきてい^いきましょう。

れ^いい^わね^ん（2026^{ねん}年）7^{がつ}月^{にち}26^{にち}日

い^いつ^いぱ^いん^いし^いゃ^いだ^いん^いほ^いう^いじ^いん ぜんこく て一^い般^い社^い団^い法^い人 全^い国^い手^いをつ^いな^いぐ^い育^い成^い会^い連^い合^い会^い

かい ちょう さ さ き もも こ
会 長 佐 々 木 桃 子